

災害廃棄物焼却後の放射能濃度測定結果

(1) 試料採取

10月16日

日明積出基地：災害廃棄物

10月17日

新門司工場、皇后崎工場：飛灰(薬剤注入後)

※日明工場は定期整備中(10/1～10/28)につき焼却を行っていないため、測定は実施していない

響灘西地区廃棄物処分場：周辺海水

(2) 測定方法

放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省)

(3) 各測定項目の検出下限値

各媒体の放射能濃度の検出下限値は以下のとおりである。

災害廃棄物、飛灰(薬剤注入後)：10Bq/kg

周辺海水：1Bq/L

なお、「不検出」とは検出下限値未満を表す。

(4) 測定結果

各媒体の放射能濃度の管理目標値は、以下のとおりであり、いずれも管理目標値を大きく下回った。

項目	管理目標値
災害廃棄物	100ベクレル/kg 以下
飛灰	330ベクレル/kg 以下
周辺海水	10ベクレル/L 以下

① 災害廃棄物

単位：ベクレル/kg

放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	合計
12	17	29

②飛灰(薬剤注入後)

単位：ベクレル/kg

場所	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	合計
新門司工場	11	31	42
皇后崎工場	16	31	47

③周辺海水

単位：ベクレル/L

場所	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	合計
響灘西地区廃棄物処分場 周辺	不検出	不検出	不検出